



## 風を感じて… うおずみは夏へ向かう

例年よりもかなり早くやって来た今年の梅雨。その中休みを利用し、1・2丁目ではおやつレクとして、1階中庭にてたこ焼きパーティーを実施しました(6月3日)。それまでの雨天続きが嘘のように、見事に晴れ渡った中庭のケヤキの木を囲んで、田園から吹き抜ける心地よいそよ風を感じながら過ごすアフタヌーン・ブレイク。和やかな空気に包まれて、瞬間にたこ焼きは品切れへ。来るべき猛暑に備え、たっぷり精気を養う機会となりました。

同じ日、デイサービスでも、同じくたこ焼きパーティーを開催。粉を流したり裏返したりと、セルフサービスで召し上がっていただきました。こちらは室内で実施したのですが、終了後もその香りの余韻が残り、まるでたこ焼き達が皆様との別れを惜んでいるかのようでした。

関西人の大好きな「粉もん」。ご多分にもれず、うおずみにも「粉もん」ファンは多数いらっしゃいます。この日、ご当地の明石焼きではなく、ソースで味わっていただきましたが、ホクホクの表情で楽しんでいただけました。もっともっと、その美味しい笑顔を見せて下さい!



大好物です!

## 《特養うおずみ開設以来》節目の100人めとなるご入居者をお迎えしました!

特養うおずみ(定員60名)開設42ヶ月めにして、節目となる100人めのご入居者が誕生しました。

記念すべき100人めとなったのは、写真中央の砂川イトエ氏です。砂川氏は、特養うおずみ開設当初よりショートステイを定期的にご利用されてきた「ベテラン」で、既にうおずみの「顔」とお呼びするのに相応しい方です。この5月23日に、慣れ親しんだ8丁目(ショートステイのユニット)から3丁目へ移り、新しい「家」と「ご近



# 百花繚乱

所様へ溶け込むべく頑張っておられます。

百花繚乱。色とりどりの個性が乱れ咲きしている特養うおずみ。その中に、すみれ、たんぽぽ、れんげ草…と、どんどん新しいタレントが加わってくるお花畑。各々のポテンシャルを上手く引き出しながらお付き合いさせていただき、スイート・マイ・ホームうおずみに、さらに新しい色の花を咲かせていきます!

## 私の戦記

③中村一美氏の場合

結婚して5ヶ月めの昭和18年のこと。私は初めての子を身ごもっていました。そんな折に召集令状が来て、主人は戦地(満州)へ赴きました。幸い、後に主人は元気に帰ってきましたが、その時はもう昭和23年になっていました。

主人の不在中、茶園場町の自宅周辺は空襲が激しくなり、私は幼子を連れて疎開しました。疎開先は主人の実家である山梨県です。姑はとても気のいい人で、お宝湯(ほうとう。きしめん風の麺)をこしらえるなどしながら主人の帰りを今か今かと待ったものです。

初めて会った主人に、4歳になっていた娘はなかなかつきまませんでした。帰るまで見せていた写真の人と違うと言いつけるのです。それもそのはず。苦労続きでゲッソリしていましたから。



▲ご自身で生けた花とともにポーズ!

# 新・厨房だより 5月13日 風食～明石産・天然真鯛のアンケート結果を報告します！

先月のイキのいい鰯フライに続き、活魚シリーズが5月に選んだのは、天然真鯛(マダイ)です！風味豊かに炊きあげた「鯛めし」、香ばしさがたまらない「鯛の潮汁」(職員の賄いは、お頭入り)に仕上げ、サイドメニューに田舎煮・湯葉豆腐・フルーツポンチを添えて、提供させていただきました。さて、お味はいかがだったでしょうか。集計したアンケート結果を報告させていただきます。ご協力ありがとうございました。

- ・ 鯛飯は風味が良く、香ばしくて楽しみながら味わえた
- ・ 潮汁の具がかわいかった。あっさりしていて香り・味とも良かった
- ・ 鯛飯の鯛の味が薄く感じた。ご飯はもう少し軟らかい方が良かった
- ・ 潮汁のにおいが強く、クセがあるように感じた
- ・ 骨を1本残らず取り除いてあり、安心して食べられた
- ・ 湯葉豆腐の味が、梅で消えたのは残念だった
- ・ 田舎煮の野菜が少し硬く、量が多く感じた



▲左の写真は、鯛のお頭を炊いているところです。

皆様の貴重なご意見で、どんどん美味しくなるうおずみ厨房です。初夏のメニューもお楽しみに！

## 《 File 35 》 2丁目 ユニット・リーダー 入江 直記

【生年月日】昭和49年6月26日 【血液型】A型  
 【趣味】1年半ほど前からゴルフを始めてまして、今では月に1回程度、値段の安いゴルフ場を探しては、小学生時代からの友人と、下手くそながらコースをまわっています。  
 【ひと言】他の職員からは「いつも笑っている人」「怒らない人」などと思われるようですが、利用者の方々には、うおずみでの生活が穏やかなものになるよう日々笑顔で頑張っていますので、宜しくお願いします。



開設初日は夜勤を担当しました  
I'm a dictionary of Uozumi, yeah!



▲お待たせしました！真打ち登場

## うおずみ 春夏秋冬 ニュース & インフォメーション

● 先月号でもお知らせしたとおり、介護保険負担限度額認定証の更新時期です。ご入居の方は、届いた封書をご持参下さい。また、ショートステイご利用の方は、各自で更新手続きをお願いします。加古川市・神戸市・播磨町・稲美町の方は、既に更新通知が届いています。手続きがまだの方は、更新通知を探してみてください。なお、明石市の方は6月中旬に通知が届く予定です。



▲ケーキ屋へ買出し ▼手合わせ(音楽療法)

### ☆ 今後の予定 ☆

- 6月6(月)・8(水)・9(木)・10(金)・13(月) 《ご入居者健康診断》PM
- 6月11日(土) 《青葉台うたうサークル☆10周年記念コンサート》  
13:30～ 於:明石市立西部市民会館ホール
- 6月15日(水) 《日本理美容福祉協会》訪問理美容サービス
- 6月27日(月) 《5丁目外出》神戸・花鳥園へ 10:30～15:00
- 6月29日(水) 《音楽療法・林先生》14:00～(デ)
- 7月4日(月) 《青葉台うたうサークル》14:00～(地)
- 7月7日(木) 《ハートベル☆七夕コンサート》14:00～(地)

## 編集



我々は、人生をよくマラソンに例えるものですが、今の自分は折り返し点過ぎ？そして、もう疲労が足に来てすっかりペースダウンしているところ？6月の初旬、トライやるウィークのためやって来た中学生の、真っ黒に日焼けした元気いっばいの姿を見ていると、あの頃に戻れたら…ドラえもんよ、タイムマシンを！と叫んでしまうのでした。それが叶うなら何でもできる気がするのは、私だけでしょうか。子供の頃は早く大人になりたかったくせに、実に勝手なものです。後悔先に立たず。今さら嘆いても仕方ないけれど、後々笑って振り返ることができるよう、ベストを尽くしたいと思います！セカンド・ウィンド(走っていて苦しかったのに、続けていくと楽に感じること)が訪れることを信じて。この梅雨を抜けると、さあ、夏本番です。



## 後記



▲トライやるウィークの中学生と交流